

本試験課題と予測課題との比較検証(台風により西と東で実施:西日本2019.10.13実施、東日本2019.12.8実施)

(1) 作図課題 (表1参照)

⇒西日本2019.10.13と東日本2019.12.8とは、ほぼ課題が同じ内容であった。ただし、屋上庭園が西日本3階、東日本2階等によりプランは大きく異なった。また、計画の要点等(記述)も類似する内容が多かった。 ※西日本と東日本とで、それぞれ合格率40%と推定するので試験としての平等性はあると判断する。

⇒建設用地は、縦長(32m×48m)の出題だった。予測課題は、全て横長であるが、縦長出題時は90度回転させる等のアドバイスをしていたので対応可能と考えられる。西日本と東日本の敷地形状及び寸法は同じであった。

⇒東西南北の条件は、予測課題2と3とほぼ同じであった。敷地図は、敷地の東側に既存美術館(本館)があり、予測課題3と同じ敷地計画であった。従って、本館から分室への動線計画も同じように計画できたと推定する。建蔽率60%も予測課題3と同じであった。

⇒要求室は、全てが予測課題と同じであった。更に、多目的展示室の無柱空間・空調機械室は予測課題3と、エントランスホールの3層吹抜け(40㎡以上)及びコインロッカーは予測課題2と同じ内容であった。

⇒その他の施設等は、トラックヤード以外は全て予測課題通りであった。特に、駐車場は、車椅子利用者用2台とサービス用1台で台数も予測課題通りであった。

(2) 記述課題 (表2参照)

⇒西日本(2019.10.13実施)は、「展示物等の移動に配慮した、荷解き室の搬入口から各展示室までの動線について考慮したこと」は予測できなかったが、それ以外は、表2の通り概ね的中した(9/10=90%的中)。

⇒東日本(2019.12.8実施)は、「外部空間と屋内空間とのつながりを踏まえて、公園、カフェ及びカフェテラスの三つの関係性について考慮したこと」は予測できなかったが、それ以外は、表2の通り概ね的中した(9/10=90%的中)。

(3) まとめ

⇒研究会の予測課題の3案は、上記の通り作図課題(縦長敷地)及び記述課題(西日本:荷解き室からの動線、東日本:公園、カフェ、カフェテラスの関係性)は予測できなかったが、それ以外として両方ともに**80%以上の中**したと言える(その結果、H28、H29、H30、R1と4年連続で本試験80%以上の中)。

表1 各予測課題の比較一覧表

は試験課題で出題された内容と研究会の予測課題の内容が類似したものを示す(細かい数値等の違いは類似したとしている)。

各社	課題名	建設用地		指定床面積		東西南北の条件				要求室																		屋上	屋外	駐車場			駐輪場	備考																		
		規模	横	縦	以上~以下		東	西	南	北	展示部門				教育・普及部門				共用部門						管理部門				庭園	広場	車いす	利用者	サービス																			
		(㎡)	(m)	(m)	(㎡)~(㎡)						展示室	市民展示	休憩 ホワイエ	保管室	資料室	図書室	研修室	工芸 アトリエ	創作室	休憩 コーナー	エント ランス	レスト ラン	カフェ	売店	休憩 コーナー	コンセ プト室	セミ ナー	キャラ 情報	子供	収蔵庫	荷解室	準備 作業	ゴミ室		事務室	施設 長室	休憩室	更衣室	指導 控室	会議 応接	ボラン ティア	守衛 室	便所 多機 能便 所	備品 倉庫	設備室	(㎡)	(㎡)	(台)	(台)	(台)	(台)	
西本試験	2019.10.13	1,536	32	48	2,000 ~ 2,400	隣地	隣地	隣地	道16m	ABC 100㎡ 50㎡	200㎡	適宜		50㎡			A~C 50㎡ 25㎡	150㎡ 創作 アトリエ		適宜 吹抜		40席	適宜							20㎡		適宜	6人						適宜 アトリエ	10人			適宜		ポンプ 15㎡ 適宜	150㎡	30㎡	2		1		建蔽率60%
東本試験	2019.12.8	1,536	32	48	1,800 ~ 2,200	道8m	隣地	隣地	隣地	ABC 100㎡ 50㎡	200㎡	適宜		50㎡			A~C 50㎡ 25㎡	120㎡ 市民 アトリエ		適宜 吹抜		40席	適宜						20㎡		適宜	6人						適宜 アトリエ	10人			適宜		ポンプ 15㎡ 適宜	100㎡	10席	2		1		建蔽率60%	
研究会	予測課題1	1,800	50	36	2,300 ~ 以上	隣地	隣地	道16m	隣地	100㎡	300㎡	適宜	適宜	適宜			100㎡		適宜	適宜 吹抜		100㎡	適宜		150㎡			100㎡	100㎡			4人	適宜	適宜	適宜 男女	適宜			適宜		適宜		適宜	100㎡	50㎡	2		1		建蔽率70%		
	予測課題2	1,664	52	32	2,300 ~ 2,800	隣地	隣地	道12m	隣地	100㎡	200㎡	適宜			100㎡	80㎡	80㎡	80㎡	適宜	適宜 吹抜	200㎡ 50人		適宜					適宜	適宜		4人	適宜		適宜 男女	適宜 男女	40㎡		適宜		40㎡	空・受水 電・非常	200㎡	60㎡	2		1	40	建蔽率70%				
	予測課題3	1,824	48	38	2,000 ~ 2,500	隣地	隣地	遊歩道	道12m	200㎡	100㎡ 2室	適宜	適宜				50㎡ ×3		適宜	適宜 吹抜	200㎡ 50人		オープン市民芸術センター300㎡						適宜		適宜	5人	適宜	50人	適宜 男女	適宜 男女	適宜	適宜 男女	適宜		空・受水 電・非常	300㎡	100㎡					建蔽率60%				

表2 計画の要点等(記述課題)の比較一覧表

は試験課題で出題された内容と研究会の予測課題の内容が類似したものを示す(細かい数値等の違いは類似したとしている)。

NO.	西日本2019.10.13実施の試験課題(記述)	研究会の予測課題(記述)
(1)	「展示関連諸室」と「アトリエ関係諸室」のゾーニングについて考慮したこと	建築計画③ ゾーニング計画について工夫したこと
(2)	展示物等の移動に配慮した、荷解き室の搬入口から各展示室までの動線について考慮したこと	予測できなかった
(3)	分館と本館との来館者の動線について考慮したこと	建築計画② 美術館(本館)から美術館の分室へのアプローチ計画について、考慮したこと
(4)	展示室A及びBについて、特記事項を踏まえたそれぞれの「室の設え」について考慮したこと	建築計画⑤ コンセプトルームについて設い(インテリア、什器、設備等)を提案する(展示室ではないが設えの事例を示した)
(5)	吹抜け及びその周囲の空間において、多くの自然光を取り入れるために、平面・断面計画や開口部について工夫したこと	建築計画⑥ (2)エントランスホールで工夫したこと(3層吹抜けとトップライトによる自然光の取入れを解説した)
(6)	公園への眺望(西面及び南面)や自然採光を確保しつつ、冷房時の日射負荷抑制を図るために、窓面の配置と天ぎさ及び日射遮蔽手法等について工夫したこと(Low-Eガラスによる工夫を除く。)	環境負荷④の② 太陽熱を遮蔽するため南側に水平ルーバー、東西に垂直ルーバーを採用した
(7)	屋上庭園(出口・通路及び客土範囲)における断面の構造等計画(梁断面、スラブ設置・厚さを決定したときの考え方、バリアフリーの考え方及び防水の考え方)について考慮したこと	構造計画⑥ 屋上庭園の床スラブ(スラブ段差、防水対策、植樹対策等)について、考慮したこと
(8)	建築物の構造種別・架構形式・スパン割りについて考慮したこと及び主要な部材の断面寸法	構造計画① 建築物に採用した構造種別、架構形式、スパン割りについて考慮したこと
(9)	多目的展示室の構造計画(柱、梁、床、天井、スパン等)について特に考慮したこと及び部材の断面寸法	構造計画② 市民展示室を無柱空間とするために構造計画で考慮したこと 構造計画③ 下表の主要な部材の断面寸法を示し、創意工夫した点を2つ述べること
(10)	多目的展示室の空調用吹出し口の設置位置(床・壁・天井・幅木)を一つ以上選択し、その位置とした理由及び配慮したこと	設備計画② 市民展示室の空調設備計画について、考慮したこと(補足図含む)

NO.	東日本2019.12.8実施の試験課題(記述)	研究会の予測課題(記述)
(1)	講演等において、多目的ホールを多くの者が利用する場合があることを踏まえて、空間構成について考慮したこと	建築計画④ オープン市民芸術センターの計画について、考慮したこと
(2)	外部空間と屋内空間とのつながりを踏まえて、公園、カフェ及びカフェテラスの三つの関係性について考慮したこと	予測できなかった
(3)	「分館出口前のオープンスペース」について、設計条件を踏まえて工夫したこと	建築計画② 美術館(本館)から美術館の分館へのアプローチ計画及び意匠計画について、考慮したこと
(4)	「市民アトリエ」及び「ショップ」のそれぞれの「室の設え」について、特記事項を踏まえて考慮したこと	建築計画⑤ コンセプトルームについて使用目的及び設い(インテリア、什器、設備等)を提案する(市民アトリエとショップではないが設えの事例を示した)
(5)	トップライトを設けた吹抜けを、自然換気に有効利用するために工夫したこと	環境負荷① (1)開閉式トップライトによる自然採光と自然通風 環境負荷④ 自然エネルギーの活用の具体的名称と概要の5つ箇条書き(補足図含む)
(6)	屋上庭園(出口・通路及び客土範囲)における断面の構造等計画(梁断面、スラブ位置・厚さを決定したときの考え方、バリアフリーの考え方及び防水の考え方)について考慮したこと	構造計画⑥ 屋上庭園の床スラブ(スラブ段差、防水対策、植樹対策等)について、考慮したこと 計画計画⑥ (1)屋上庭園の計画で工夫したこと
(7)	設計条件(建築物の用途や規模等)を踏まえて、建築物の構造種別・架構形式・基礎形式・スパン割り等を決定するに当たり、耐震性と経済性について考慮したこと	構造計画① 建築物に採用した構造種別、架構形式、スパン割りについて考慮したこと 構造計画④ 採用した基礎方式と、その選定理由について考慮したこと
(8)	多目的ホールの構造計画(柱、梁、床、天井、スパン等)について考慮したこと及び部材の断面寸法	構造計画② 市民展示室を無柱空間とするために構造計画で考慮したこと 構造計画③ 下表の主要な部材の断面寸法を示し、創意工夫した点を2つ述べること
(9)	公園の眺望(西面及び南面)や自然採光を確保しつつ、冷房時の負荷抑制を図るために、建築計画や設備計画において工夫したこと(Low-Eガラスによる工夫を除く。)	環境負荷① (2)水平・垂直ルーバーとLow-E複層ガラスによる窓面の日射負荷抑制 環境負荷④ 自然エネルギーの活用の具体的名称と概要の5つ箇条書き(補足図含む)
(10)	多目的ホームの空調方式について、その方式及び冷暖房計画で考慮したこと	設備計画② 市民展示室の空調設備計画について、考慮したこと(補足図含む)